

Windows のファイル管理

第4回：ショートカット

3回までの説明で、自分に合ったフォルダ構成を構築できるようになりました。今回は必要なファイルの取り出し方を説明します。

ファイルを取り出すには、第3回で説明したエクスプローラーを使用します。

まず、タスクバーのエクスプローラーアイコン、または、デスクトップ上のフォルダのアイコンからエクスプローラーを起動します。次に、目的のファイルが保存されているライブラリから、子フォルダ、孫フォルダと順々にフォルダの階層を辿って表示していき、目的のフォルダ/ファイルまで到達します。

しかし、ファイルが階層の深い場所にあると、たどり着くまでに何回もフォルダを開かないといけません。頻度高く使用するフォルダやファイルをワンタッチで表示できると便利です。これを可能にする「ショートカット」について説明します。

ショートカットはデスクトップに置くアイコンで、ダブルクリックすることで目的のフォルダ/ファイルのエクスプローラー上に表示します。ショートカットは矢印のついたアイコンで表示されます。



ショートカットを作るには、目的のフォルダ/ファイルのエクスプローラー上に表示します。次に、目的のフォルダ/ファイルを右クリックし、表示される「ショートカットの作成(S)」をクリックするとショートカットキーが作成されます。

このショートカットキーをデスクトップ上にドラックアンドドロップ (アイコンをクリックしたままデスクトップ上に移動しクリックを放す) すると、以降、デスクトップ上のショートカットキーをダブルクリックすることで目的のフォルダ/ファイルが表示されます。

